

2013年 5月 23日

知床の未来を語る夕べ 知床に高等教育機関を作ろう！

～知床自然大学院大学設立財団がスタートしました～

in ゆめホール知床

1月の財団設立後、なかなか地元町民の前で大学院大学構想を説明する機会を持てなかったこともあり、5月23日、斜里町のゆめホール知床で、斜里町民向け講演会「知床に高等教育機関を作ろう！～知床自然大学院大学設立財団がスタートしました～」を開きました。

午来設立者がこれまでの知床の歩みや知床の価値、大学院大学構想にかける情熱について、上野設立者は知床が生み育てる保護思想や人材育成について講演しました。また中川業務執行理事は、20年来町内で検討されてきたこの構想の経緯について説明し、今この財団が事業に取り組む必要性などを訴えました。

参加者は約50人。地元企業の経営者や町議会議員、教員、会社員、主婦、マスコミ関係者らさまざまな人に足を運んでいただきました。質疑応答の時間には「専門職大学院大学という形は決まったものなのか」「大学院大学と町内小中高校との連携はどう考えているのか」などの質問が出され、活発な意見交換の場となりました。

今後も事業が進むのに合わせ、その時々でこのような場を設け、丁寧な説明を心がけていきたいと思っています。



↑
参加者の質問に答える（左から）田中代表理事、
中川業務執行理事、午来設立者、上野設立者



↑
自然大学院大学構想について講演する中川業務
執行理事